



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 西部電機株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 6144 URL <https://www.seibudenki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮地 敬四郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理担当 (氏名) 藤岡 敬正 (TEL) 092-943-7071
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,604	2.7	756	14.6	814	15.7	404	△11.9
2019年3月期第2四半期	10,325	11.3	660	13.9	704	18.9	459	20.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 510百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △135百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	26.70	—
2019年3月期第2四半期	30.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,956	22,466	66.2
2019年3月期	39,129	22,334	57.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 22,466百万円 2019年3月期 22,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2020年3月期	—	12.50			
2020年3月期(予想)			—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△18.1	2,290	△28.4	2,410	△27.6	1,500	△34.3	99.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	15,160,000株	2019年3月期	15,160,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	10,300株	2019年3月期	10,208株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	15,149,766株	2019年3月期2Q	15,149,807株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いてきたものの、米国と中国の経済摩擦による中国経済の低迷など海外経済の不確実性は高まり、また国内においては大規模災害や消費増税の影響など先行きは不透明な状況となっております。

このような情勢の中で、当社グループとしましては、前連結会計年度からスタートした中期経営計画「チャレンジ240」を達成すべく活動しております。どのような環境下にあっても「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は、産業機械事業は増加したものの、搬送機械事業ならびに精密機械事業が減少したため、112億4千万円（前年同期比27.4%減）となりました。売上高は、精密機械事業が減少したものの、搬送機械事業ならびに産業機械事業は増加して106億4百万円（前年同期比2.7%増）となりました。損益においてはコストダウンと経費節減に当社グループ一丸になって注力した結果、経常利益は8億1千4百万円（前年同期比15.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券の評価損を計上したことにより4億4百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

搬送機械事業

搬送機械事業では、大口顧客・既存顧客のシェアアップに注力したことによるリピート受注や製造業の生産・物流分野などに最適なソリューション提案を行い、さらにはサービス・メンテナンス分野にも注力しましたが、受注高は設備投資の減速、大口物件の減少などが影響して44億5千3百万円（前年同期比42.3%減）となりましたものの、売上高は、大口物件の売上があり50億1千2百万円（前年同期比40.7%増）となりました。

産業機械事業

産業機械事業では、民需へのアプローチが成果を上げ、さらには官需についても順調であったため、ゲート駆動装置の受注が好調に推移して受注高は29億6千8百万円（前年同期比13.4%増）、売上高は18億5千6百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

精密機械事業

精密機械事業では、国内は地域密着型営業を展開し、新規顧客の開拓に努めましたが、主に中国向けワイヤ放電加工機の商談が減少して、受注高は35億5千1百万円（前年同期比28.4%減）、売上高は34億6千9百万円（前年同期比29.6%減）となりました。

その他の事業

その他の事業では、営繕工事等行っており、受注高は2億6千6百万円（前年同期比33.8%増）、売上高は2億6千5百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より51億7千2百万円減少し、339億5千6百万円となりました。その主な要因といたしましては、仕掛品が3億9千4百万円、原材料及び貯蔵品が4億8千9百万円増加しましたものの、現金及び預金が24億8千9百万円、受取手形及び売掛金が33億9千3百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末より53億4百万円減少し、114億9千万円となりました。その主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金、電子記録債務が36億7千6百万円、未払法人税等が6億9百万円、流動負債のその他の未払費用が4億4千3百万円、未払金が2億3千6百万円、未払消費税等が1億1千9百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末より1億3千1百万円増加し、224億6千6百万円となりました。その主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が1億1千9百万円増加したことなどによるものであります。

(2) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ24億8千9百万円減少し、79億4千8百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は13億8千4百万円（前年同期は15億4千6百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の減少33億9千3百万円がありましたものの、仕入債務の減少33億4千6百万円やたな卸資産の増加8億8千8百万円、未払費用の減少4億4千3百万円があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は7億1千6百万円（前年同期は4億6千4百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7億1千3百万円があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は3億8千8百万円（前年同期は9億1百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払3億7千8百万円を行ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年10月31日発表の数値から変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,577,315	8,088,226
受取手形及び売掛金	10,337,723	6,943,956
仕掛品	1,127,786	1,522,013
原材料及び貯蔵品	1,967,405	2,457,254
その他	93,236	98,858
貸倒引当金	△2,489	△683
流動資産合計	24,100,976	19,109,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,990,254	3,875,328
土地	5,006,687	5,006,687
その他（純額）	1,106,988	1,120,130
有形固定資産合計	10,103,929	10,002,146
無形固定資産	24,287	24,665
投資その他の資産		
投資有価証券	3,855,013	3,855,567
その他	1,080,465	999,890
貸倒引当金	△35,345	△35,345
投資その他の資産合計	4,900,133	4,820,112
固定資産合計	15,028,350	14,846,924
資産合計	39,129,327	33,956,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,212,729	2,144,599
電子記録債務	7,403,330	3,795,373
短期借入金	416,250	416,250
未払法人税等	752,755	143,406
前受金	192,967	134,531
その他	2,168,186	1,251,553
流動負債合計	13,146,219	7,885,715
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,477,866	1,477,866
役員退職慰労引当金	14,287	15,835
製品保証引当金	849,239	803,842
退職給付に係る負債	1,133,187	1,148,805
その他	174,065	158,188
固定負債合計	3,648,646	3,604,538
負債合計	16,794,866	11,490,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,658,400	2,658,400
資本剰余金	2,616,594	2,616,594
利益剰余金	11,798,747	11,824,552
自己株式	△4,620	△4,698
株主資本合計	17,069,122	17,094,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,912,537	2,032,015
土地再評価差額金	3,363,734	3,363,734
退職給付に係る調整累計額	△10,932	△24,301
その他の包括利益累計額合計	5,265,338	5,371,448
純資産合計	22,334,460	22,466,295
負債純資産合計	39,129,327	33,956,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,325,957	10,604,017
売上原価	7,396,954	7,816,861
売上総利益	2,929,002	2,787,155
販売費及び一般管理費	2,268,838	2,030,660
営業利益	660,164	756,495
営業外収益		
受取利息	553	238
受取配当金	34,034	38,901
その他	20,249	24,878
営業外収益合計	54,837	64,017
営業外費用		
支払利息	5,284	1,815
コミットメントフィー	544	541
障害者雇用納付金	600	1,800
移設関連費用	-	1,450
その他	4,241	140
営業外費用合計	10,669	5,747
経常利益	704,332	814,765
特別損失		
固定資産除却損	438	0
投資有価証券評価損	-	128,898
特別損失合計	438	128,898
税金等調整前四半期純利益	703,893	685,866
法人税、住民税及び事業税	263,548	125,155
法人税等調整額	△18,863	156,162
法人税等合計	244,684	281,317
四半期純利益	459,208	404,548
親会社株主に帰属する四半期純利益	459,208	404,548

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	459,208	404,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△579,104	119,478
退職給付に係る調整額	△15,767	△13,369
その他の包括利益合計	△594,872	106,109
四半期包括利益	△135,664	510,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△135,664	510,658
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	703,893	685,866
減価償却費	238,143	257,685
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△62,952	△91,500
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△3,048	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△114,646	△110,970
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	36,357	27,192
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△200	1,548
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△52,057	△45,396
貸倒引当金の増減額(△は減少)	794	△1,806
投資有価証券評価損益(△は益)	-	128,898
受取利息及び受取配当金	△34,588	△39,139
支払利息	5,284	1,815
固定資産除却損	438	0
売上債権の増減額(△は増加)	2,217,174	3,393,767
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,256,199	△888,276
仕入債務の増減額(△は減少)	1,209,918	△3,346,852
未払金の増減額(△は減少)	124	83
未払消費税等の増減額(△は減少)	△28,720	△145,440
未払費用の増減額(△は減少)	△79,818	△443,160
前受金の増減額(△は減少)	1,304,358	△58,436
長期未払金の増減額(△は減少)	△1,147	△6,635
その他	△17,686	△76,335
小計	2,065,421	△757,094
利息及び配当金の受取額	39,520	44,945
利息の支払額	△4,856	△1,815
法人税等の支払額	△553,458	△670,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,546,627	△1,384,067
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△464,511	△713,636
投資有価証券の取得による支出	△936	△973
その他	1,134	△1,983
投資活動によるキャッシュ・フロー	△464,314	△716,592
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△204,000	-
長期借入金の返済による支出	△336,000	-
自己株式の取得による支出	△28	△78
配当金の支払額	△347,394	△378,329
リース債務の返済による支出	△14,123	△10,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△901,546	△388,429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	180,766	△2,489,089
現金及び現金同等物の期首残高	11,194,123	10,437,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,374,890	7,948,226

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。